



MEIKO メカトロニクス事業

産業システム機器部



会社情報

商 号	株式会社メイコー(Meiko Electronics Co., Ltd.)
設立年月日	昭和50年(1975年)11月25日
代 表 者	代表取締役社長 名屋 佑一郎
本 社	〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
事業内容	プリント基板等の設計、製造販売およびこれらの付随業務の電子関連事業
主要製品	両面・多層スルーホール基板、ビルドアップ基板、フレキシブル基板、フレックス・リジッド基板、大電流基板、放熱基板、部品内蔵基板、メタルマスク、プリント基板検査機、各種自動化・少人化装置、はんだ付けロボット、映像機器、映像システム
資 本 金	128億88百万円
連結売上高	1,189億10百万円(2019年3月期)
連結従業員数	11,899名(2019年3月末)
単体従業員数	478名(2019年3月末)



お問合せは、下記までご連絡ください



メイコーホームページからのお問い合わせ



株式会社メイコー 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上 5-14-15

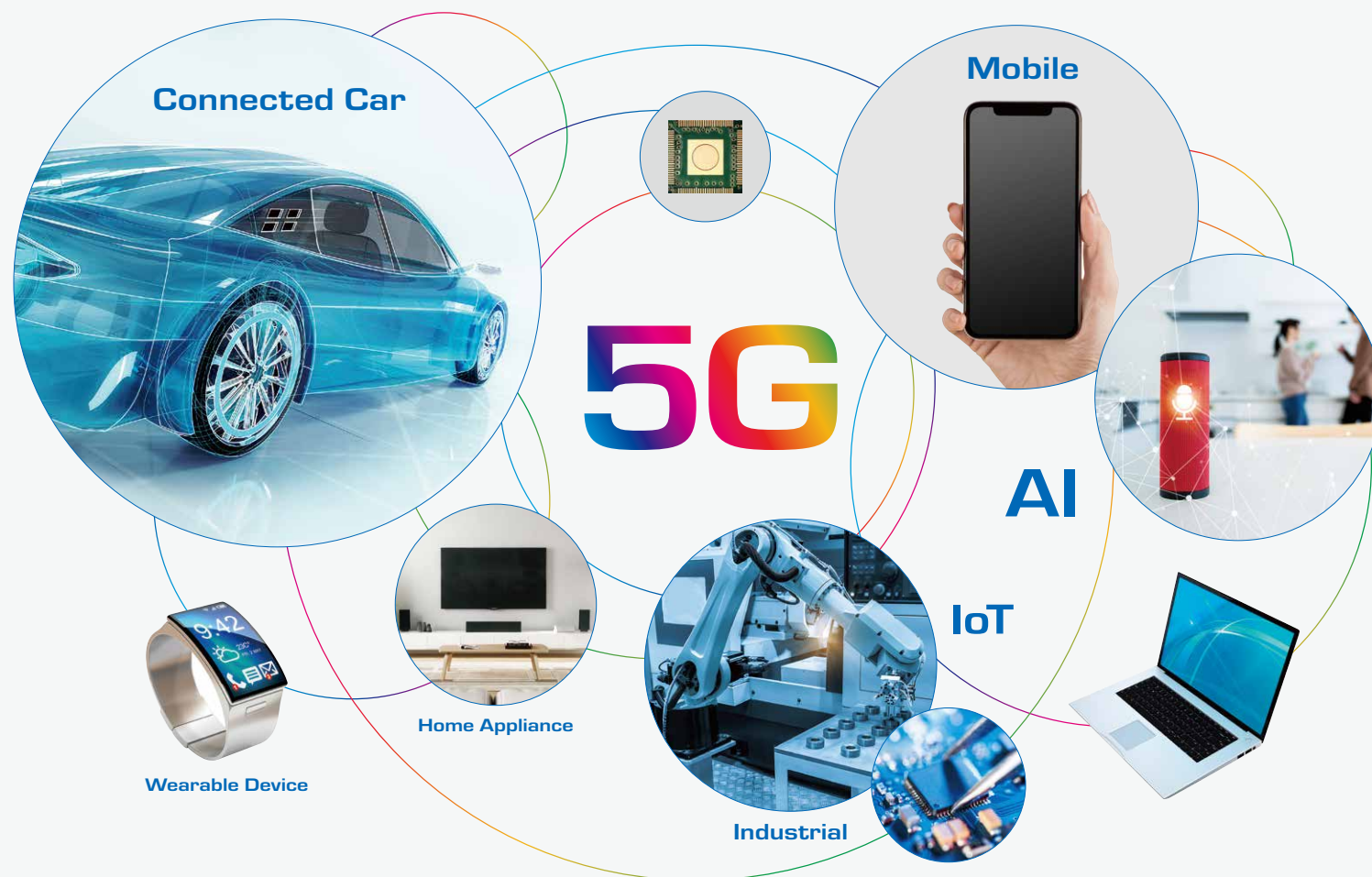
FAシステムグループ **046-267-8621** / SRシステムグループ **0467-33-8018** / 映像システムグループ **0467-33-8019**

電話でのお問い合わせ受付時間 9:00 - 17:00 (土日祝日を除く)

OPENS UP A NEW ERA OF ELECTRONICS

EMSから各種メカトロニクス開発まで柔軟に対応する、
エレクトロニクス分野のトータルソリューションカンパニーです。

先端技術を駆使した基板を一般家庭やオフィス機器、自動車、スマホ、5G領域などで開発
EMS(実装・組立)を大幅に増強し、さらにメカトロニクス分野へ本格的に進出



メイコーグループはお客様の No.1 パートナーとしてお客様と一緒に商品を作り上げるとともに、
お客様の要望に対応するトータル技術で“ものづくり No.1”に挑戦し続けます。

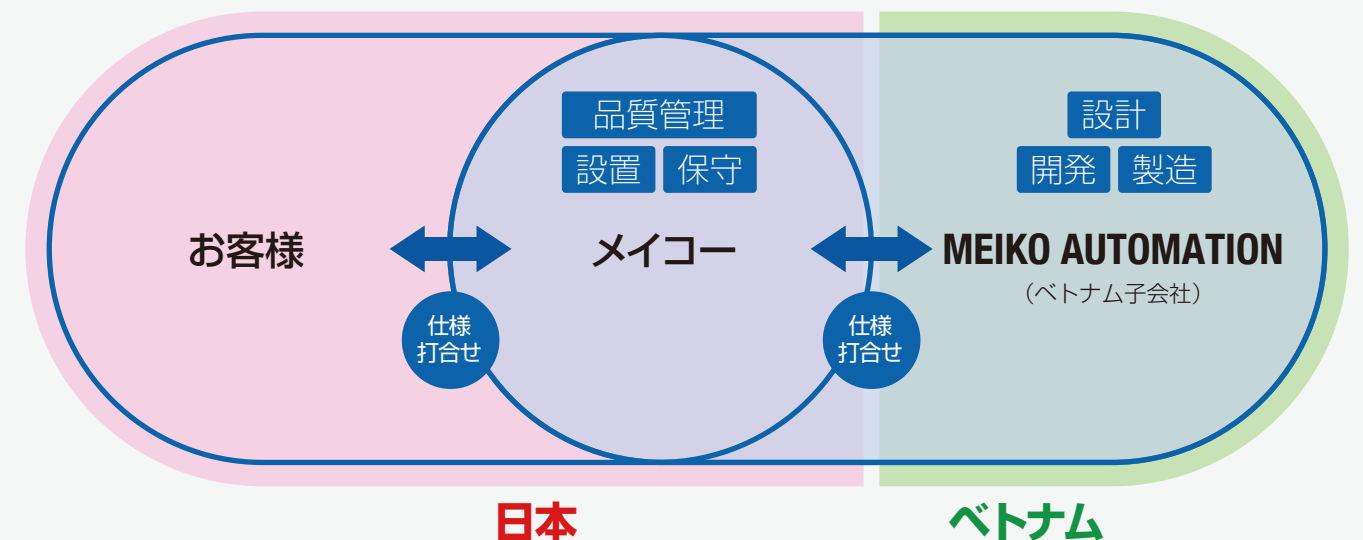


MEIKO メカトロニクス事業

■ 代表的開発製品の軌跡



■ ビジネスモデル 仕組み 役割



現場の声を形にするプロフェッショナル集団

自社プリント基板工場の自動化設備の製作で培った設計開発を元にお客様のニーズに
対応した設備を構想し、ご提案します。

- ベトナム子会社での設計開発により**低価格**を実現
- メイコーが国内窓口となり品質管理する事で**日本品質**を維持
- 加工部品の内製化により**短納期**を実現

FAシステム

ファクトリーオートメーションとIoT技術で、Connected Industries(コネクテッドインダストリーズ)を推進し製造工程のコスト削減、スピード向上、品質安定、安全性の向上を目指します。

当社のファクトリーオートメーションは、単純作業や危険な工程などにロボットを活用することで生産品質向上やコスト削減、作業員の安全性、人材確保の問題を解決し、製造工程を大きく発展させ進化させます。

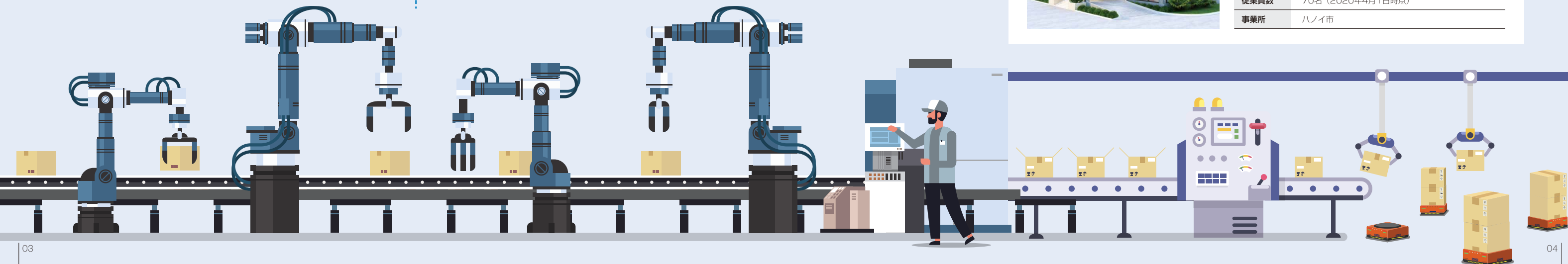
製造に関わるコミュニケーションを改善させ、最適な時間管理や緻密な製造ライン計画が立てられるため、無駄のない製造工程が可能となります。

今後はIoT技術によるビッグデータの活用や画像処理技術を取り入れ、より進化した付加価値のあるスマートファクトリーをご提案していきます。

INDUSTRY 4.0



Automation Big Data Cloud Computing Autonomous IoT Data Management



オートメーション機器 開発実績例



個片整列装置

- ロボットにて製品(個片)を専用パレットに整列収納する装置
- 画像処理を用いて表裏判定、良否選別、形状認識し、正確にパレットに収納します。



レーザーマーキング装置

- 面付け・ボード別に自動採番機能を有したレーザー刻印装置
- ワークサイズ 618mm×539mmまで刻印可能です。



銅インレイカシメ装置

- 基板の穴径、板厚を自動測定し、最適なサイズの銅ピンを選定し、自動挿入・カシメを行う装置



ラックマテハン装置

- 旋回+伸縮するシンプルな構造のロボットにて製品を専用ラックに積載する装置
- バッファストックを設けることで工程を止めることなく台車交換を可能にしました。



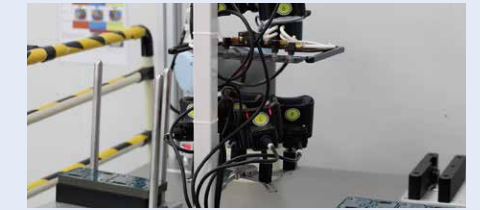
AOIマテハン装置

- 1台のロボットにて2台のAOI検査装置への投入・受取を行う装置
- おもて面検査済み基板を反転させながら、裏面AOI検査装置に投入します。



IoTセンサーモジュール

- 各種センサーと組み合わせが出来る汎用I/Fを設けた小型特定小電力無線機器
- 現場に設置した温度・風量等の各種センサーからのデータerを無線通信にて防災管理室に送信、集中監視に活用できます。



2Dバーコード検査装置

- 6軸ロボットにて製品を搬送し、製品の2Dバーコードの読取り、仕分けする装置
- 読み取った2Dコードをデータベースと照合し、重複採番判定等が可能となります。



スマート倉庫:AGVシステム

- 部材保管棚より指定した部材の搬出・搬入を自動にて行う装置



合紙分離投入機

- 製品と合紙を交互に積載されたパレットより、製品と合紙を分離し、製品のみを投入する装置
- 逆モーションとすることで受取機としても使用可能です。

MEIKO AUTOMATION



商号	MEIKO AUTOMATION JOINT STOCK COMPANY
設立年月日	2019年10月1日
親会社	MEIKO ELECTRONICS Co.,Ltd.
資本金	5,000万円
代表者	名屋 佑一郎
従業員数	70名(2020年4月1日時点)
事業所	ハノイ市



SRシステム

「基板のメイコー」が生み出した、はんだ付けロボット。
タクト・品質・安定性、三拍子揃った自動化をご提案します。

当社のSRシステム(Soldering Robot)部門は、自動はんだ付けロボットを開発・製造・販売しています。主にエレクトロニクス業界におけるプリント基板と電子部品とのはんだ付け用途に多く採用されています。

昨今では、「ワーカー不足(高齢化、人件費高騰、技能者不足)、働き方改革、品質安定」のキーワードによりロボットによる自動化・省人化の需要が増えています。

また、ロボットの架台を始めとして、ワークの押え治具・ターンテーブル・スライドテーブルなど周辺設備のご提案も行っています。

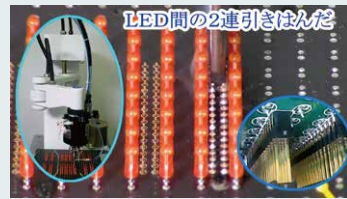
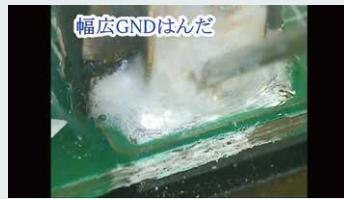
はんだ付けの新境地

- 異次元のはんだ漏れの拡がり → タクトと品質の両立
- 異次元の「条件出し」 → “専用”ロボットだから実現
- 異次元のコテ先長寿命 → 運用コストを最小限に



QRコード

今までのはんだ付けの概念を
一変させる動画集



はんだ付けロボットラインナップ

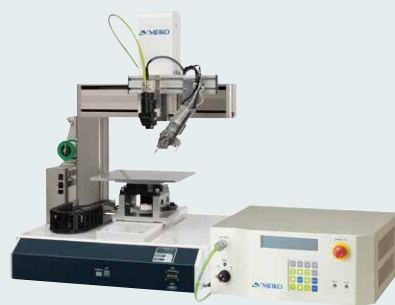
LEther-α スカラ型コテ式ロボット



LEther-TOP 卓上型コテ式ロボット



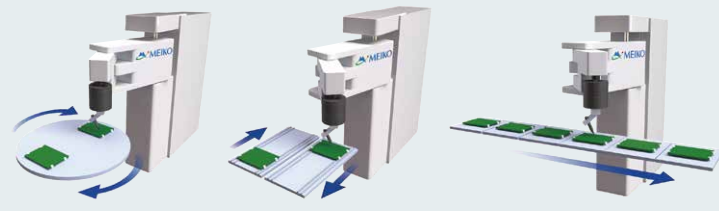
LEther-LD 卓上型レーザー式ロボット



■ 架台／治具



■ システム提案(ターン／スライドテーブル／インライン)



映像システム

映像機器の設計・製造、ソフトウェアの開発、映像システムの構築
により社会に貢献いたします。

当社の映像システム部門は、業務用映像機器を開発・製造・販売しています。

警察の総合指揮システムや消防防災システム、道路交通管制や鉄道、空港などの社会インフラの監視システムにおいて多く採用されています。

とくに複数の画面で構築する「ビデオウォールシステム」に必要なプロセッサやマトリクススイッチャーなどの開発を得意としています。

災害や事件、事故等の危機管理用の設備において、監視カメラ等と連携する新たな製品・ソリューションの開発に注力し、安心・安全な社会の構築を目標にして参ります。



大画面ビデオウォールの映像を自由にコントロール。
複数画面による映像監視などの危機管理分野で注目を集めます。

映像機器ラインナップ

MVC-IPシリーズ

IPストリーム対応ビデオウォールコントローラ

- IPエンコーダ/デコーダ、画面合成、スイッチャーなどの機能を集約
- レイアウトフリー:大画面に自由自在にウィンドウ表示が可能
- 操作性:タブレットと連携しサムネイル映像での操作が可能



MVC-IP mini

IPストリーム対応小型ビデオウォールコントローラ

- MVC-IPシリーズとネットワーク上で連携が可能
- テレビ会議システムとしても利用が可能
- 大幅なコストダウンと省スペースを実現



ME200-TX/RX HDBT映像伝送器

- コンパクトなHDMIツイストペアケーブル送受信器
- HDMI信号を最大100mまで伝送可能
- 4Kまでの広帯域な映像信号に対応



アプリケーションソフトウェア各種カスタマイズ

- 映像・音響システムの操作ソフトを用途に合わせて開発
- タブレットPCのドラッグ&ドロップやピンチ操作
- 操作画面上に入力映像のサムネイル表示が可能



MXDシリーズ

フレームシンクロナイザ内蔵HDMIマトリクススイッチャー

- HDMI信号を最大72入力72出力まで対応 ※4chで選択可能
- HDMI入出力、HDBT入出力、音声出力、FS出力ボードを準備
- フルスペック4Kまでの広帯域な映像信号に対応



主要製品沿革

- 1981年 NTSCマルチビジョンプロセッサ開発 (世界初)
- 1988年 ハイビジョン対応マルチビジョンプロセッサ開発 (世界初)
- 1991年 ワークステーション対応マルチビジョンプロセッサ開発 (世界初)
- 1999年 オーバーレイ表示対応マルチビジョンプロセッサ開発
- 2001年 オーバーレイ表示対応マルチウィンドウスキャンコンバータ開発
- 2006年 プロセッサ内蔵マトリクススイッチャー開発
- 2007年 256入出力対応 大型マトリクススイッチャー開発
- 2008年 プレビューモニター内蔵マルチスイッチャー開発
- 2010年 ハイビジョン対応マルチウィンドウスキャンコンバータ開発
- 2012年 HDCP対応DVIマトリクススイッチャー開発
- 2013年 HDCP対応ビデオウォールコントローラ開発
- 2014年 HDBT対応DVIマトリクススイッチャー開発
- 2015年 4K対応HDMIマトリクススイッチャー開発
- 2016年 4K・HDBT対応HDMIマトリクススイッチャー開発
- 2018年 IP・4K対応ビデオウォールコントローラ開発
- 2019年 IP・4K対応小型ビデオウォールコントローラ開発
- 2020年 フレームシンクロナイザ搭載HDMIマトリクススイッチャー開発

■ 使用例：セキュリティ



多数のIPカメラ映像の取り込み、映像を分割・巡回表示させることで様々な場所を最小限の人で監視することが出来ます。

■ 納入事例：防災センター



災害時に対策会議を行う重要機関に当社の映像機器が採用されています。機器のみならず、ソフトやシステムの構築まで対応いたします。